

# 高まる必勝の気運



出陣式 (4月14日 朝)

## 日刊 勤労千葉

83. 4. 16

No. 1317

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)  
(鉄電)二九三五六・(公衆)〇四七二二七二〇七

### 4.14出陣式の大盛況をもち激戦に突入

告示となった十四日、中江候補は自宅脇の広場で行われた出陣式で、力強い第一声を発し直ちに船橋市内へうつてきました。夕刻十八時には津田沼駅北口に登場し、二十時まで「反核・護憲・平和都市宣言」の実現をめざす中江候補への支持を市民に訴えました。

#### 勝利の確信に満ちあふれた、出陣式

雲ひとつない青空がひろがり、初夏をおもわせる陽ざしのもと、出陣式が行われる中江候補の自宅前には、勤労千葉組合員はもとより、国労、全通、日立精機、中小労連などの推薦労組の組合員、「船橋市民の会」の仲間、そして地元、飯山満 山の手町会の人達など、二七〇名が集まりました。十時、「中江昌夫」の真新しい看板がとりつけられた宣伝カーが拍手に迎えられて到着し、出陣式が始まりました。

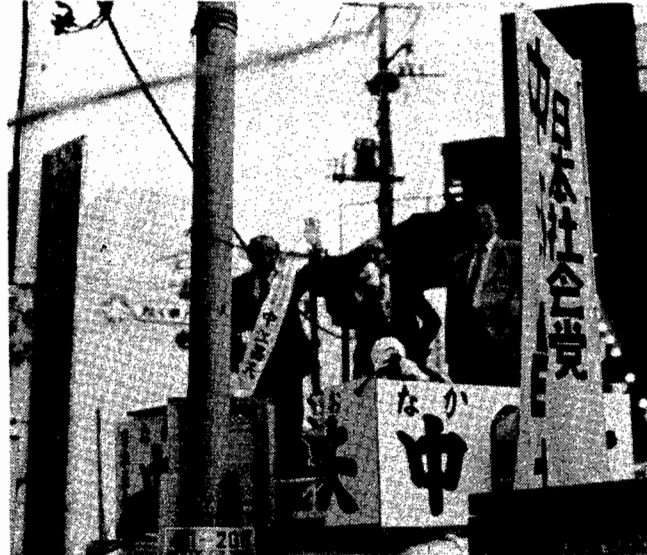
#### 反響を呼ぶ中江候補の街頭宣伝

宣伝カーは、一日中船橋市内を走りつづけ、18時、津田沼駅北口に到着しました。「船橋市民の会」宣伝隊によつて駅のコンコースに展示された被爆パネル展には帰宅を急ぐ市民も足を止め、黒山の人だかりが絶える間もない程でした。何人かの市民は涙して見入り、是非署名させてほしいと訴えるなど、大きな反響をよびました。その脇で、中江候補、本吉国労千葉副委員長、関川勤労千葉委員長が宣伝カーの上にたち、「反戦・平和」と「中江支持」を熱く訴えかけました。

まず太田総合選対委員長(花輪ヶ丘病院会長)がたち、「中江さんが平和都市宣言の署名を始めたのを機会に、この人を市議会に送らねばと決意した。みなさんの熱意と活動力で是非市会へ送り出して下さい」とのあいさつをされました。つづいて推薦団体・労組を代表して県労連の清水事務局長は、「中江さんは今までの労働運動、市民運動の経験を生かして市政に新風をおこしてくれるものと期待しています。勤労千葉のみなさんの今までの運動の積み重ねが、この十日間で積みあげられれば必ず当選できます」と激励されました。

多くの市民が演説に耳をかたむけ、「がんばれ」との声援が後をたちませんでした。なかには感動して家族ぐるみの投票を約束してくれた人、くだものをカンパしてくれた人、握手を求め人々が続出しました。中江候補の反戦・平和の呼びかけは、船橋市民に圧倒的共感をもつて迎えられています。中曽根反動内閣をぐいぐい追いつめています。世の中の関心が船橋に集中しており、中江の勝利は中曽根に大打撃を与えることは明らかです。勤労千葉の底力を発揮し中江勝利をかちとろう。

出陣式には子供連れの主婦など、飯山満 山の手町会の人達が中江候補の激励に多数かけつけ、山の手町会長の松本さんから「是非市会に入り、市民のために活躍してほしい」との激励のあいさつを受けました。最後に割れるような拍手をうけて中江候補がたち、「必ず当選をかちとり」船橋を反核・護憲・平和都市宣言の街に』をはじめとする五つの約束を実現するために全力をつくす」との決意表明を行いました。



告示後初の駅頭宣伝にたち、市民の声援にこたえる中江候補。(国鉄津田沼駅北口 4月14日夜)